



「想定外」を飲み込む力と、用紙に向き合う真剣な意思

学力テスト総合 B、本当にお疲れ様でした。残すは最後の総合 C のみです。

前半の教科で手応えを感じていた人が多かった一方、4 時間目の理科では出題にやや“曲(クセ)”があり、苦戦した声が多く聞かれました。給食時間のあの静けさが、戦いの激しさを物語っていましたね。

実際の入試本番でも、このような「例年と違う出題」が起きないとは言い切れません。

例えば 2009 年、高校入試で初めて「裁量問題」が導入された時の数学は、極端に難化しました。その混乱の中で合格を勝ち取ったのは、圧倒的な実力者か、あるいは「**解けない難問に焦らず、取れる問題を確実に取って落ち着いて対応できた人**」でした。

イレギュラーな問題に出会った時こそ、あなたの「**対応力**」と「**メンタル**」が試されます。理科での悔しさは、本番に向けた最高の予行練習(経験値)です。

第 4 回進路希望調査:丁寧な記入は「覚悟」の表れ

本日、第 4 回進路希望調査を配布しました。今回は記入欄が最大 4 校(公立 1 校・私立 A 日程 1 校・私立 B 日程 1 校・その他)となり、11 月 24 日の第 5 回「**最終決定**」に向けた極めて重要な事前調整となります。※同日程で第 2 希望がある場合は備考欄にその旨を御記入ください。

第 3 回の用紙を見ると、**何度も二重線で訂正しながら必死に悩んだ跡**がたくさんありました。その悩み抜く姿は、**自分の未来と真剣に向き合っている証拠**であり、心からかっこいいと思います。

だからこそ、今回の第 4 回では「**なるべく二重線なしで丁寧に書くこと**」を目指してみませんか？

前回の用紙をよく見ると、うっすらとシャーペンで下書きをした跡を残している生徒がいました。自分の進路に誠意を持ち、**慎重に、丁寧に用紙に向き合う姿**。そうした生徒は、**普段の学習や生活でも不思議と落ち着いて実力を発揮**しています。

また、本命校に挑戦(チャレンジ)する場合でも、しっかりとした併願(私立等)という安心感(保証)があってこそ、**本番でもてる力を 100%発揮**できるものです。

悩み抜いた思考を、今度は「丁寧な一文字」に込めて提出してください。その丁寧さこそが、あなたの覚悟となり、受験を乗り切る強い推進力になります。

自分の選択に誠実であれ—— レッツ、福井野 PRIDE !

【保護者の皆様へ】

学力テスト総合 B が終了し、いよいよ今期の懇談を経て出願校の絞り込み(第 4 回希望調査)を行う時期となりました。テストでの予期せぬ難問への手応えや、併願校の選択など、御家庭でもお子様が様々に葛藤されていることとお察しいたします。

受検本番で力を発揮するためには、本人の挑戦を応援しつつも、**万全の併願計画による「心の安心感」を確保**することが非常に有効です。第 5 回の最終決定に向け、学校と御家庭でしっかりと連携を取り、お子様が納得と覚悟をもって受検に向かえるようサポートしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

